



平成 26 年 5 月 2 9 日
第 5 号 (春号)
南つくし野小学校
南つく蝶プロジェクト
代表 河野哲也

初 心

河野 哲也

南つく蝶プロジェクトのスタートと共に創刊したバタフライガーデンも5号の発刊となりました。児童を中心としたプロジェクトの輪は、先生、ご父兄、自治会を初めとする皆様のご理解の下、着実に広がりつつあります。4月には新入生を迎え、更に輪の広がることが期待されます。

ここに改めて創刊号の巻頭言をご紹介します、皆様と共に南つく蝶プロジェクトの初心を振り返り、更なるプロジェクトの発展を図りたく存じます。

子供たちの周りに小さな自然再生を！

－蝶プロジェクトの目指すこと－

季節の移り変わりとともに、南つくし野小学校や私たちの住まいの周りで様々な蝶の飛来が観察されます。庭や公園や近くの樹林など私たちの気付かぬ処で命の営みが行われていることの証です。しかし残念ながら、飛来する蝶の個体数は、年々減少の傾向にあります。

本来、自然は私たちにとって博物学の宝庫です。しかし、生活環境の都市化と生活様式の変化は、子供たちの日常から自然との接触の機会を少なくしています。

私たちの幼少の頃、私たちを包んでいた豊かな自然は、探索と発見の喜びと感動を体験させてくれる教室でした。この喜びと感動は、子供の感性を育てる「ドキドキ、ワクワク感」です。

「自然」が教えてくれるこの喜びと感動を、日々身近に体験できる環境作りは、都市化された生活環境にあって、子供たちに益々大切なことではないでしょうか。

「蝶プロジェクト」が目指す蝶の飛び交う環境作りの目的は、この街に蝶の力を借りて自然を再生し、身近に自然の不思議さを日常体験できる環境を作り、子供たちの柔らかな感性を刺激することにあります。

(2013年バタフライガーデン1号掲載)

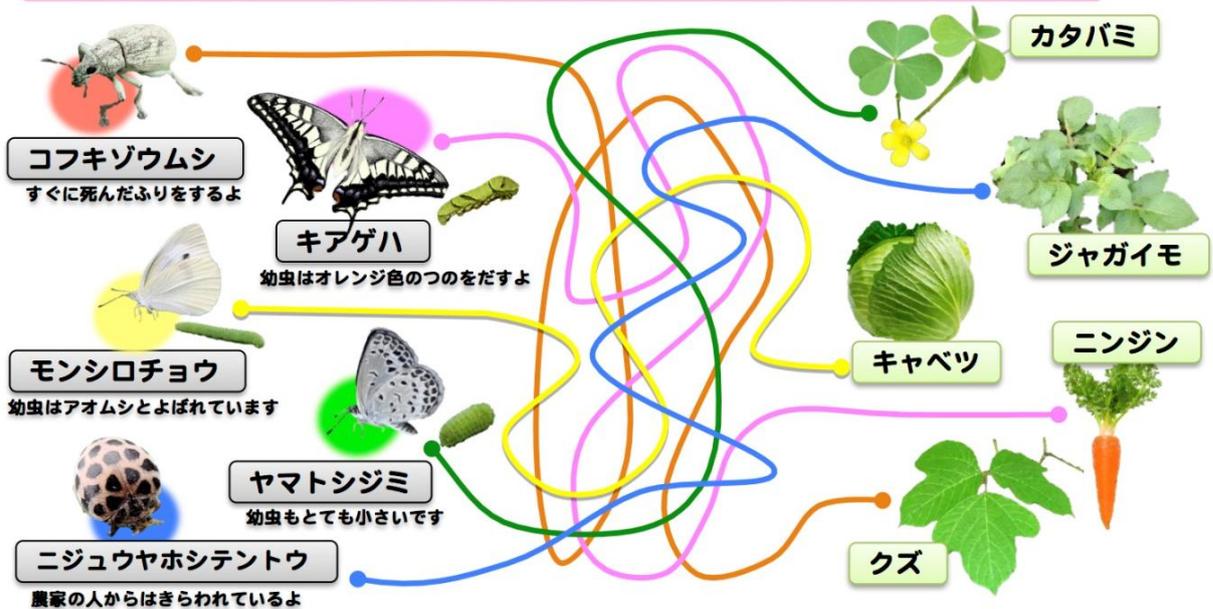
ホームページができました！

ちょう
蝶プロジェクトのホームページができました。

<http://butterflygarden.sunnyday.jp/> または『南つく蝶プロジェクト』で検索してください。
かつどう ようす ちょう
活動の様子や、蝶レポートなどを掲載しています。ちょうの目撃情報を集めて、地域の蝶マップ
さくせいよてい みなさま
を作成予定です。皆様からのちょうの写真やコメント待ってま〜す！

■ みんな何を食べているのかな？ ■

★ 下の昆虫は何を食べているのか、線をたどってみよう。



活動の紹介

5月17日 今年度の活動がスタートしました

中庭のプランターにチョウを呼ぶための草花の種をまきました。その後、チョウとガの幼虫の見分け方のコツを聞いてから、畑でモンシロチョウの幼虫を探しました。



昨年の活動で植えた花も咲きました



すみれ



なのはな



ストロベリーキャンドル

紹介した本です。

『わたしの研究

モンシロチョウの観察』

石井象二郎著

偕成社



今年度はチョウの他にもいろいろな自然にふれる企画があります。みなさまの参加をお待ちしています。

